

標 題

出雲地域の稲WCS、更なる品質向上に向けて その3
～水分率予測により適期収穫を目指す～

(ダイジェスト)

J Aしまね出雲WCS協議会による稲WCSの品質向上に向けた取り組みとして、早生品種の収穫時期が近づいてきたことから、管内3地区において、収穫前の稲の水分率予測と稲サンプルを用いた水分率測定を実施しました。昨年より多くの生産者と一緒に取り組み、水分率予測の目合わせができました。引き続き、適期収穫・良品質生産に向け、収穫状況調査を実施する予定としています。

J Aしまね出雲WCS協議会による平成30年産の稲WCSの品質向上に向けた取り組みについては、普及情報No. 11、13でご紹介したところです。

このたび、早生品種「夢あおば」の収穫時期が近づいてきたことから、7月18、19、23日に、佐田・平田・神西地区において、6圃場でスクイーズテスト*による収穫前の稲の水分率予測を実施し、内5圃場の稲サンプルを用いて高温乾燥機による水分率測定を実施しました。

各圃場とも昨年を上回る生産者の参加があり、一緒にスクイーズテストを実施し、水分率予測の目合わせができ、適期収穫に向けた有意義な活動になりました。

実際にサンプルを水分率測定すると、予測値とほぼ合致し、スクイーズテストの有効性も再確認できました。なお、当協議会では収穫適期として「水分率；70%未満」、「熟期；乳熟～糊熟期」を推進していますが、水分率の測定値は速やかに生産者またはJ A担当者へ連絡し、収穫開始時期の参考にしてもらっています。

当普及部としては、今後、早生品種の収穫状況調査と、その後に収穫期を迎える中生・晩生品種についても同様の取り組みを生産者と一緒に行うこととしており、引き続き適期収穫・良品質生産に向けて支援していきます。

※スクイーズテスト；細断した原料草を90秒間力いっぱい握って水分率を予測する手法。



サンプリングの様子



参加者全員でスクイーズテスト